

ASP・SaaS・ICT アウトソーシングアワード2009

特定非営利活動法人
ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム

アワードの趣旨



- 昨今、急激に拡大しているASP・SaaS・ICTアウトソーシング市場動向にあわせて、さらにこれらのビジネスモデルや技術が社会に貢献するものとするため、また各ベンダー経営者・営業・企画・技術者の意欲向上を目的として、『**ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009**』を実施する。
- このアワードは、日本国内でもっとも優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・ICTアウトソーシングを実現しているアプリケーション・コンテンツ提供・その他のオンデマンドサービスなどの、ネットワークを活用したICTサービス全般について表彰するものである。
- 審査は、エントリー事業者に直接関連のない有識者からなる委員会を設置して、公平な観点から選定し、表彰する。
- これによって、さらにASP・SaaS・ICTアウトソーシング関連業界の活性化、社会情報基盤の健全な育成、さらには日本経済の発展に寄与することを目的とする。

アワード 受賞企業のメリット

賞の授与(表彰)により、営業活動で大きな効果が期待できます

多くのマスコミでの報道により企業名、サービス名などが取り上げられます

- ・第一次審査を通過した企業・サービスはASPICのホームページに紹介します。
(第一次審査通過企業数はASP・SaaS部門、IDC部門それぞれ約30社の予定です。)
- ・最終審査結果はマスコミに発表すると同時にASPICホームページに掲載します。
- ・受賞企業は、賞状とトロフィーが授与され、各社オフィスなどで展示することにより、社員のモラル向上や顧客・取引先への御社の優秀さのアピールが可能となります。

アワード 実施計画



告知・エントリー開始 2008年7月

エントリー申込書提出締切

まずエントリー申込書を提出してください。

ASP・SaaS部門、IDC部門 両部門エントリー開始

エントリーシート提出締切 9月16日(火)

エントリーシートにサービス詳細を記入し提出してください。

書類審査

【第一次審査】 10月～11月

書類審査通過サービスの公表

第1次通過サービス各社は、第2次審査までにプレゼンテーション資料を提出してください。

【第二次審査】 11月～12月

プレゼンテーションによる審査

各賞の決定 2009年1月下旬

表彰式・記者発表

2009年2月19日

アワード 申込方法



- (1) エントリー申込書・・・8月8日(金)締切
- (2) エントリーシート・・・9月16日(火)締切

- (1)初めにエントリー申込書を提出下さい。
- (2)その後エントリーシートにサービスの詳細をご記入の上、メールにてお送り下さい。

申込書のみでの提出では審査対象にはなりません。必ずエントリーシートをご提出下さい

エントリーの際の注意点

1. ASP・SaaS部門のエントリーについて 以下の3分野に分かれています。
 - バックオフィスアプリケーション分野
 - 情報系アプリケーション分野
 - ASP・SaaS支援・ミドルウェア・ハードウェア分野各分野1サービス、1企業最大3サービスまでエントリーが可能です。
2. IDC部門エントリーについて
 - 日本国内に設置されているデータセンターを対象とします。
 - 自社向けにサービスを提供しているデータセンターは対象としません。
 - 自社以外の複数の企業に対してネットワークを経由してサービスを提供しているデータセンターを対象とします。
 - 複数のデータセンターを全国に分散して運営している場合は、もっとも優秀なデータセンターをエントリーして下さい。
 - 同一敷地に複数のデータセンターの建物が設置されている場合も、その中のひとつの建物を選定してください。
3. ASP・SaaS部門、IDC部門、両部門の応募が可能です。
 - 両部門お申込の際は、1企業最大4サービスまでエントリーが可能です。

アワード各賞 ASP・SaaS部門(予定)



1. 総合グランプリ	(1社)	全評価項目の最高得点
2. 分野別グランプリ	(3社)	バックオフィスアプリケーション分野 (財務会計、人事給与、EDI…)
		情報系アプリケーション分野 (グループウェア、メール配信…)
		ASP・SaaS支援・ITツール・ハードウェア分野 (サーバーベストコンピューティング、レスポンス向上関連ツール、データベース、その他のASP支援システム全般)
3. ベストベンダー賞	(1社)	ASP・SaaSベンダー企業として最も評価の高い企業
4. ベストイノベーション賞	(1社)	該当するサービスが最も社会の改革改善に貢献したと思われる企業とサービス
5. ベストブレイク賞	(1社)	ライセンス数の伸び率がもっとも高かったサービス
6. ベストベンチャー賞	(1社)	ベンチャーファンド関係者による推薦による賞
7. ベスト連携賞	(1社)	他社のサービスと最もうまく連携を図ったサービス
8. ベストビジネスモデル賞	(1社)	以下の観点からベストビジネスモデルと考えられる賞 イノベーションと生産性向上、新産業創造、グローバル経営、地域産業創造、地域教育改革、地域医療、福祉改革、地域観光開発、地域政府効率化
9. ベスト公共部門賞	(1社)	公共部門に対し最も貢献したサービス
10. ベスト環境貢献賞	(1社)	環境に対して最も貢献をしたサービス
11. 委員会特別賞	(1社)	委員会により推薦
12. 委員長特別賞	(1社)	委員長により推薦

アワード各賞 IDC部門(予定)



1. 総合グランプリ	(1社)	全評価項目の最高得点
2. 規模別グランプリ	(3社)	大規模分野グランプリ 総合グランプリを除く最大搭載で1000ラック以上のデータセンターで最も評価の高いデータセンター
		中規模分野グランプリ 総合グランプリを除く500以上1000未満のラックを搭載しているデータセンターで最も評価の高いデータセンター
		小規模分野グランプリ 総合グランプリを除く500ラック未満の搭載しているデータセンターでの最も評価の高いデータセンター
3. バリュークリエイション賞	(1社)	データセンター事業に新しい事業モデルや付加価値を生み出しているデータセンター
4. 地域貢献賞	(2社)	関東地区・大阪地区・名古屋地区以外のデータセンターについて、地域の社会情報基盤に最も貢献していると考えられるデータセンター
		関東地区・大阪地区・名古屋地区のデータセンターについて、地域の社会情報基盤に最も貢献していると考えられるデータセンター
5. グリーンIDC賞(環境貢献)	(1社)	最も環境対策に貢献しているデータセンター
6. ASP連携賞	(1社)	ASP事業者との連携がもっともうまく図れたデータセンター
7. セキュリティ賞	(1社)	最もセキュリティ対策に優れているデータセンター



表彰式 記者発表

2009年2月19日(木)
表彰式・記者発表
記念パーティ
13:30 ~ 19:30
ゆうぽうと(五反田)

参考：第1回、第2回 アワードの応募状況



第1回(2006)

応募総数：90社(124サービス)

- ・ASP・SaaS部門：同上
(会員25社、非会員65社)

第一次審査通過数：37社

- (ASP・SaaS部門)
(会員19社、非会員18社)

最終審査：

- ・ASP・SaaS部門 14社
(会員8社、非会員6社)

第2回(2007/2008)

応募総数：122社(1社1サービス)

- ・ASP・SaaS部門：96社
(会員38社、非会員58社)
- ・IDC部門 : 26社
(会員16社、非会員10社)

第一次審査通過数：34社

- (ASP・SaaS部門)
(会員26社、非会員8社)

最終審査：

- ・ASP・SaaS部門 18社
(会員12社、非会員6社)
- ・IDC部門 10社
(会員6社、非会員4社)

ASPアワードグランプリ



第1回 2006年7月エントリー開始 2007年2月9日 表彰式
第2回 2007年7月エントリー開始 2008年1月25日 表彰式

第1回 ・グランプリ
株式会社セールスフォース・ドットコム
「Salesforce」

第2回 ・ASP・SaaS部門 グランプリ
プロパティデータバンク株式会社
「@プロパティ」

・IDC部門 グランプリ
富士通株式会社
「館林データセンター」

第1回、第2回 受賞企業一覧はASPICホームページに掲載しております

第1回、第2回 表彰式記念撮影



第1回表彰式 記念撮影 2007年2月9日



第2回表彰式 記念撮影 2008年1月25日

ASP・SaaS部門



中央
佐藤総務副大臣

中島委員長・河合会長

中田政策統括官、秋本課長

IDC部門



中央
佐藤総務副大臣

中島委員長・河合会長

中田政策統括官・秋本課長

アワード記念イベント・アワード関連記事

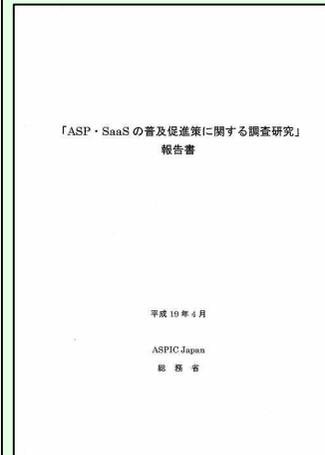


第1回 ASPアワード記念シンポジウム 2007年7月5日 サンケイホール



第1回アワード受賞社
により企画運営し
顧客セミナーを開催
いたしました

「ASP・SaaSの普及促進策に関する調査研究」報告書 第1回アワード受賞サービスが紹介されています



平成19年4月27日
総務省報道発表

ASP・SaaSの普及促進策に関する報告書と
「ASP・SaaS普及促進協議会」の設立について

上記報道発表の際に
「ASP・SaaSの普及促進策に関する調査研究」
が公表され

調査報告書 ASPの有効活用の方向性
1. ASPの動向と最新事例 として第1回
アワード受賞サービスが紹介されています

ASPアワード記念シンポジウム 秋葉原コンベンションホール ASIS2008 2008年5月19日、20日



第2回アワードについては
ASP・SaaSイノベーション・シンポジウム
において授賞式・記念講演をいたしました。

5月19日には 総務大臣 増田 寛也氏より
「ASP・SaaSの活用促進にむけて」と題して
ご講演をいただきました

ASP・SaaS構築ガイド (ビジネスとソリューションの構築手順と留意点)



第6章「ASP・SaaSの事例」
において第1回、第2回アワード受賞
サービスを紹介しております

本テキストはASPIC技術部会
により編集され全国各地で本テキスト
を使用しセミナーを開催しております

ASPICの沿革



- 1999年 11月 任意団体ASPインダストリ・コンソーシアム・ジャパン設立(創立メンバー85社)
- 2000年 10月 欧米のASP関係者を集め、東京において世界ASP会議(ASPIC Global Meeting)開催
- 2001年 8月 日本、韓国、シンガポールでアジア国際組織ASP/IDCAllianceを結成
- 2002年 2月 特定非営利活動法人(NPO)の認証取得
- 2002年 4月 行政機関からの受託事業を開始。以降、全国電子自治体(千葉県、宮崎県、大阪府昭島市、小金井市、多摩市、延岡市、那覇市、沖縄市、名護市、柏崎市)中小企業、地域コミュニティに受託事業の活動範囲を拡大
- 2003年 3月 「公共ITにおけるアウトソーシングに関するガイドライン」(総務省から受託)作成
全国35都道府県において自治体職員に説明会実施
- 2003年 4月 ASP白書(ASP白書2003)を作成
- 2004年 5月 日本、韓国、シンガポールによるASP/IDC Alliance会合を東京で開催
- 2005年 9月 「ASP白書2005」を作成・出版
- 2006年 5月 「ASP・IDC活用による電子自治体アウトソーシング実践の手引き」の作成・出版
- 2006年 7月 「ASP総覧2006/2007」の作成・出版
- 2006年11月 日韓共同ASPワークショップをソウルにて開催
- 2007年 2月 国内初の「ASP・ITアウトソーシングアワード2006」を開催
- 2007年 4月 総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」を設置
- 2007年 4月 「ASP・SaaSの普及促進策に関する調査研究」報告書作成
- 2007年 6月 韓国政府・韓国ITレンタル産業協会(KITRIA)と総務省・ASPICとの東京会合
- 2007年 6月 ASP・SaaS普及促進協議会(第1回協議会 6月15日開催)
- 2007年 6月 ASP・SaaSの情報セキュリティ対策に関する研究会(第1回研究会 6月21日開催)
- 2007年11月 総務省から「ASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針」を公表
- 2008年 1月 「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2007/2008」を開催
- 2008年 4月 「ASP・SaaS安全・信頼性情報開示認定制度」運用事務の受託
- 2008年 4月 「ASP・SaaS構築ガイド」を作成、各地で「ASP・SaaS構築ガイドセミナー」開催
- 2008年 5月 「ASP・SaaSイノベーション・シンポジウム(ASIS)2008」を開催
- 2008年 5月 第三回日韓ASPミーティング開催(東京)
- 2008年 6月 平成20年「電波の日・情報推進月間」にて「総務大臣賞表彰

総務大臣表彰



ASPICは平成20年度「電波の日・情報通信月間」総務大臣表彰を受けました



特定非営利活動法人 ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム(会長 河合輝欣)は、中小企業の生産性向上、地方自治体の行政事務の効率化に寄与するツールの一つである「ASP(Application Service Provider)・SaaS(Software as a Service)」の利活用に取り組み、安全信頼性に係る情報開示指針の策定に重要な役割を果たす等、ASP・SaaSの普及促進を推進するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。
(総務省 平成20年6月1日報道発表資料より)